

令和5年3月22日
日本原子力発電（株）

敦賀発電所2号炉 令和5年3月17日第1126回審査会合におけるコメント

1. 薄片試料の作製は、複数の人が関与する複雑な作業工程なので、薄片試料の作製位置や作製方向が正しいことを残試料で確認することが重要であることから、薄片作製位置周辺の残試料を検証可能な形で残しておくこと。
2. 原因分析の結果、思い込みが原因の一つであれば、思わぬ誤りは他の調査データでもあり得るので、薄片試料の作製位置及び条線確認位置以外にも、類似箇所の特検範囲の拡大について検討すること。
3. 今回の薄片試料の作製位置の誤り及び類似箇所の特検で見つかった誤りに対する原因分析、是正処置を説明すること。
4. 第1113回審査会合コメントを反映したうえで、追加の変更箇所の特検、それを踏まえた審査資料の変更・修正を行い、次回審査会合ではその変更・修正を反映させた資料一式を作り込んで提出すること。

以上

(参考)

改 2023.3.22

2023.2.20

日本原子力発電(株)

敦賀発電所 2 号炉 令和 5 年 2 月 10 日第 1113 回審査会合におけるコメント

(不適合管理等)

1. 審査資料に係る不適合管理, 設計変更等の業務プロセスについて, 対策完了の記載に関して事実関係が分かりにくいことから, 適正化をすること。また, 是正処置についても追記すること。

(調査データの変更等)

2. 変更・修正後の審査資料(性状一覧表等)を追加すること。
3. 副次的変更に関して, 起点の変更・修正を一つの項目としているものは区別すること。
4. 審査資料において, 複雑なケースや例外的なケース について, 直接関係する変更項目とのみ紐づけするなど, 統一的で正確な記載にするとともに, 丁寧な記載にすること。
5. 以下の例示的なコメントを踏まえ, 観察手順, 試料観察箇所の適切性, 必要な計測結果, 写真, 補足の説明等を追記するなどして, 分かりやすい資料として見直しを行うこと。
 - ・BHTV で走向・傾斜を取得できなかった箇所に関して, 見掛けの走向角の差について, 計測結果, 写真等の確認した内容を記載すること。
 - ・条線観察の前提条件である, コアの上盤, 下盤がどちらかや, ボーリングコアの定方位化等について, 必要な観察手順等を記載すること。
6. 破碎帯名や破碎帯分布図のような評価が変更となるものについては, 他の観察結果等の変更とは識別した記載・整理とすること。
7. スケッチの作成日について, いつの露頭の状態を観察した結果なのかが重要な情報なので, それを明確にしたうえで, 再度確認した日を記載するなど適正化すること。また, スケッチを修正している内容が分かるように記載すること。さらに, 今後の審査において, 旧版のスケッチも含めて, スケッチの変遷が分かるように整理して示すこと。

※下線部は, 令和 5 年 2 月 20 日の面談を踏まえて修正した箇所

以 上